豊岡市教育研修センターだより

豊岡市教育委員会　R６(２０２４).１０.４　No.１０
豊岡市のホームページにもアップしています。
豊岡市 HP→上段「くらし」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ

令和６年度 全国学力・学習状況調査結果より

１　教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

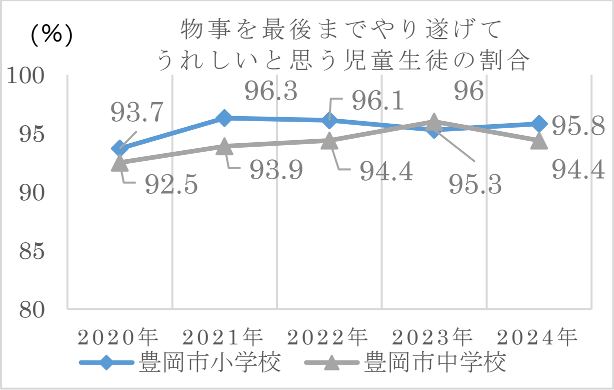
結果の概要（平均正答率）

校種・学年	小学校６年		中学校３年	
教　　科	国　語	算　数	国　語	数　学
豊岡市(%)	６５	６３	５５	５４
全国（%）	６８	６４	５８	５３

※ここに示している結果はあくまでも学力の一部です。
※本調査では、正答率の差が５％以内は有意性がなく、同程度とみなします。

２　質問紙調査〔子どもたちの学習に向かう意欲、学習の様子、生活の様子等に関する調査〕

豊岡市の児童生徒の傾向（抜粋）



非認知能力に関する項目です。「物事を最後までやり遂げてうれしいと思う」小学生、中学生は 95%近くの数値を示しています。この項目は「やり抜く力」、「自制心」、「協働性」をはかるものです。
　今後も、学校・家庭・地域において非認知能力を高める関り が大切です。

結果を受けて豊岡市の取組

◎学力向上委員会による結果分析を行い、課題を改善する授業アイデア集を作成します。また、研修会などを通して、各校へ周知し、各校での授業実践を積み上げていきます。
◎１１月末に発行予定の「教育委員会だより」に、学力・学習状況調査の結果とその改善策について掲載し、学力の特定の一部分から見えてきたことについて、広く市民の皆様へお知らせします。

豊岡の取組が紹介されました！

　非認知能力を伸ばすためには、持っていないスキルを一方的に習得させるのではなく、子どもたちが持っている力を伸ばしていく必要があります。そのためにどうするか。演劇というアウトプット型の創作活動だから効果があるということももちろんですが、そこにコミットメントしていくファシリテーターの働きかけも非常に重要です。この演劇ワークショップでのプロのファシリテーターの視点を教員も学び、学校行事やすべての教科に広げていってほしいと考えています。そのためにも、担任の先生にもしっかりとワークショップの様子を見てもらい、終了後にファシリテーターと一緒に振り返りを行うことが重要です。学校によっては保護者の見学も推奨しています。（一部抜粋）
「学校とは何か　子どもの学びにとって一番大切なこと」河出新書、2024 年
　汐見稔幸(編著)